

平成22年6月23日

南海電気鉄道株式会社

「高野線全線開通80周年」を迎える今年の夏も...

こうやさん さむえ
高野山駅に「作務衣」を着た駅係員が登場！

霊場・高野山の風情を存分にお楽しみください

南海電鉄（本社：大阪府中央区、社長：亘 信二）では、霊場・高野山の風情をお楽しみいただくため、今年7月3日から9月26日までの土・休日とお盆期間、高野山駅の駅長をはじめ駅係員全員が、山内の僧侶などが労働（作務）をするときに着る「作務衣」を着用してお迎えし、お客さまを案内いたします（今年で4回目）。

極楽橋～高野山駅間の鋼索線（ケーブルカー）が昭和5年に開通してから今年で80周年を迎えます。そこで当社では今年を「高野線全線開通80周年」と位置づけ、様々な記念事業を実施します。

記念事業で高野線と鋼索線の歴史を感じながら、そして山岳区間の景色を味わいながら、全国的にも珍しい作務衣姿の駅係員に会いに、ぜひ高野山へお越しください。



作務衣姿でお待ちしています！（右が駅長）

1. 「作務衣」の着用期間

- (1) 平成22年7月3日（土）から9月26日（日）までの土・休日
- (2) お盆期間・・・同年8月13日（金）

2. 「作務衣」を着用する従業員

- (1) 高野山駅長・・・ズボン・ぞうり着用
- (2) その他の係員全員・・・上着のみ着用
「作務衣」の色・・・男性用：しもねず色（グレー系）、女性用：わかくさ色（グリーン系）

3. 高野山駅の概要

- (1) 開業 昭和5年（1930年）6月29日
- (2) 所在地 和歌山県伊都郡高野町高野山国有林第9林班ノは
- (3) 1日平均乗降人員 1,982人（平成21年度）

【ご参考】高野線全線開通80周年について

昭和5年（1930年）6月29日、極楽橋～高野山駅間の鋼索線（ケーブルカー）完成をもって、高野線は汐見橋駅から高野山駅までの全線（鋼索線含む）が開通しました。当社では「高野線全線開通80周年」にあたる今年、難波駅と極楽橋駅での「高野線全線開通80周年記念展」の開催（7月1日から）や、橋本～極楽橋駅間での「2300系ミュージアムトレイン」の運行（7月1日以降順次）など、様々な記念事業を実施します。記念事業を通じてお客さまに高野線の歴史を振り返っていただき、これからも高野線および当社グループをご愛顧いただきたいと思います。

以上